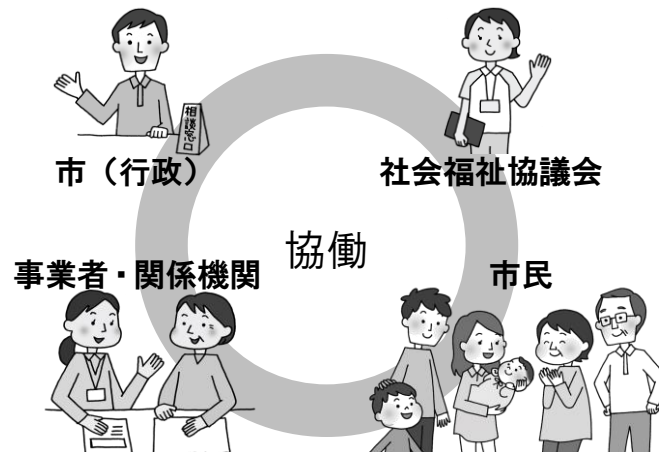


# 第6章 計画を推進するために



## 1 協働による計画の推進

本計画を推進していくためには、市（行政）・社会福祉協議会・事業者・関係機関・市民等の協働が欠かせません。それぞれが専門性をいかし、主体性を持ちながら、包括的に取り組むことが重要です。



### （1）市（行政）

市は、本計画に書かれている施策を総合的に実施し、地域福祉の推進に努めることが求められます。

特に、本計画は多様な分野を横断的につなげる役割を担っています。地域福祉庁内推進委員会を通じて庁内関係部署の連携を深めるなど、福祉以外の様々な分野とも連携し、包括的に地域福祉を推進するよう努めていきます。

### （2）社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域福祉推進の中心的な役割を果たす団体として、地域における福祉関係者や関係機関、団体等と連携し、地域の連帯と支援の輪を広げていくという重要な役割を果たしていくことが期待されています。

特に、本計画と社会福祉協議会が策定した「地域福祉活動計画」は、市における地域福祉の実現という点では同じ方向性で進めており、「地域共生社会」の実現に向けた連携をより一層深めていきます。

### **(3) 事業者・関係機関**

福祉サービス事業者や地域包括支援センターなどの関係機関は、サービスの提供者・協力者として、サービスの質の確保、事業内容やサービス内容の情報提供及び周知、地域や他の事業者、関係機関との連携に取り組むことが求められています。

中でも、社会福祉法人については、他の事業主体では対応が困難な福祉ニーズに対応できる公益性の高い非営利法人として、地域における公益的な取組の実践を地域と連携して実施していくことが期待されます。

### **(4) 市民**

市民は、一人ひとりの暮らしと生きがいを大切に、地域で起こる問題を「我が事」として捉え、地域の中で解決するためには何ができるかを考え、実際の行動に移していくことが期待されています。

本計画の、第5章「地域で取り組めること」は、個々人や地域のみなさんで話し合い書き込んでいただくことができるよう、ワークブックの形式となっています。具体的にどのような役割を担っていくのかを、計画を活用しながら考えていただきたいと思います。

## 2 計画の評価と進行管理

### (1) 評価指標の設定

計画を着実に実行するためには、計画に記載された施策の進捗状況を把握する必要があります。第3期計画までは、数値による目標値を定めていませんでしたが、計画の更なる推進に向け、総合計画と連動した数値を主として、基本目標ごとに評価指標の項目と目標値を設定しました。

項目	現状値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成35年度 (2023年度)
<b>基本目標1 一人ひとりが活躍する地域づくり</b>		
ボランティア・市民活動センター登録者数	504人	700人
自治会・町内会等の加入世帯数	19,177世帯	20,186世帯
市民アンケート【あなたは、今後、福祉に関するボランティアに参加したいとお考えですか。】という設問において「積極的に参加したい・できるだけ参加したい」と回答した人の割合	39.7%	42.2%
<b>基本目標2 みんながつながりあう地域づくり</b>		
ふれあいのまちづくり 事業における地域活動拠点	・利用登録団体 15,260人 ・延べ利用者数 3,424回	100団体 18,000人 4,000回
地域協力ネットワーク	・設立数 60団体 ・参加団体数	4団体 128団体
市民アンケート【現在、あなたの住んでいる地域の中で課題に感じること何ですか。】という設問において「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」と回答した人の割合	14.2%	11.7%
<b>基本目標3 社会的孤立を防ぎ必要な支援へつなぐしくみづくり</b>		
地域福祉コーディネーター相談件数	1,059件	1,749件
女性相談件数	493件	550件
権利擁護センター「あんしん西東京」での相談件数	945件	1,100件
<b>基本目標4 サービス内容の充実・向上のためのしくみづくり</b>		
高齢者層における地域包括支援センター認知度※1	48.4%	58.4%
福祉サービス第三者評価の受審件数	65件	90件
<b>基本目標5 災害や犯罪を防ぐ環境づくり</b>		
防災市民組織の数	97組織	150組織
市民アンケート【日頃から地域の防災訓練に参加していますか】という設問において「参加している」と回答した人の割合	12.2%	14.7%
消費者生活相談件数※2	1,161件	1,100件
<b>基本目標6 誰もが快適に暮らせる環境づくり</b>		
はなバスの輸送人員※3	2.09人/km	2.18人/km
市民アンケート【現在、あなたの住んでいる地域の中で課題に感じること何ですか。】という設問において「移動手段が整っていない」「買い物へ行くのに不便を感じている」と回答した人の割合	16.5%	14.0%

※1:平成28年度高齢者一般調査による

※2:消費者トラブルの未然防止による相談件数の減少が目標

※3:1日1kmあたりの輸送人員

## (2) 進行管理体制

本計画に掲げる基本理念に基づき、施策実効性のあるものとして推進していくためには、定期的に施策・事業の進捗状況を確認し、評価を行いながら進めていくことが重要です。

そのため、毎年度計画の進捗状況について、地域福祉庁内推進委員会及び地域福祉計画策定・普及推進委員会に報告し、施策・事業の評価、見直し、改善についての検討を行い、次年度以降の施策・事業の実施にいかしていきます。

